新

のくり ま尚三 でれ味う般仏念のましの回昨 での若教にごした退忌年 董法は な空経縁えの先特式要当 起ま深代にをと山 コ無当二 のせい紀 教ん方久口事山十 々大ナにニハ に和禍修十世 随尚に行九大 喜のおす世慈 し退いる大提 董て 7 こ典三 頂式滞と紀大 きにっが久和 感はてで大尚 謝多おき和十 にざ誠日

る とはは心は堪縁た Q で お す Q と 7 み は 7 の 因 何 空 縁 ŧ 15 な ょ っ 7 生

はあ す。 みり のう いた緑のゆ宇

べ切 _ ては のなと 因因あ 互立と縁ら い相い離けも間 れ合 てわ

無お縁と関す一でののとま意いっ となわ な h) っ ては成 っ ま 7 おおり た b) と持そ ちれ互になを掛る宙 を せ孤持助に依 け原り る 因相 ħ

り いにの ¬ ŧ 何 と縁の か起は つ あ ょ h L まてつ ん立た

うにはっををにが 令心よ生縁結つよ悪俗縁 年和掛いま起べくっ 七け縁れをばれて ま 担悪ば起 ぐいよ 2 言が 結いる 果結 とい でけが果いまい をすで生がうす 最かはず起 意が、気 大 決る のり、 起 て 自 と 分 あ悪 っいいは 結て因因因 周 囲 縁縁縁

監会書副会紀 事計記会長代 長

櫻宮佐黒櫻

井崎藤岩井

良

久透平元樹

田永萩山

村井原口

俊芳宗次

樹司仁夫

割

田

伸

男

芳

ż

で

あ

ま

ľ

話

長寺

世

野

原

良博夏

小嶋長宮

林村谷崎

弘夫浩夫

久川雅

田小青豊萩小中山市湯浅篠岩 島林木田原林村口村本見原木 義

津

治雄文清男寬剛秋真茂雄史雄 橋湯櫻塩酒唐 爪本井野井沢 原 満完雅英保明 男司和介治雄

小 林

北川横林与羽

戴

喜根

屋尾

軽原壁

井湯

沢畑

光紀 西神 山戸 義久

青斎岩 木藤田 篤善重 夫利

十四日旬七日七旬五日月 🗚

護涅会の 御 挨

会彼会会 〜 岸総

食物会若降 花 ま 0

者会

供

除釈第六大天護大釈三教釈節年 夜尊十日施明持般尊日区尊分頭 の成五 鐘道回秋会故総会誕春持槃 会ゴ彼 ル岸

と

良

十十未九八八六四四三

二定月月月月月月月月月月月

 \Box

ニキ五中ニハ 十中十二四

祈

念

申 7

上

げの

十

世

住

省

吾

合

月月

十日

りまあよ年 ましりりも すたが雲宜 た よ北う寺く ろ軽ご護お し井ざ持願 く沢い会い おのまの致 願須す活し い原 動ま 申幸寺にす し夫世ご 上様話理 げか人解 まらのを す青交賜

木代の 篤が

様ご

岩

8月14日 施食会 (せじきえ)

施食会(せじき)は施餓鬼(せがき)ともよばれます。

ヤンチャな子どもを悪ガキと呼びますが、子供は貪るように食べることがあるため、餓鬼(ガキ)が比喩的に用いられるようになったのです。

餓鬼の世界では常に飲食をすることができないため、 飢えと渇きにもがき苦しんでいる霊に食物や飲み物を お供え物として捧げ、法要を執り行います。施食会は 餓鬼に施しをすることで、**自らの徳につなげる法要**で す。

多くのお寺ではお盆やお彼岸など他の年中行事と一緒 に施餓鬼会が行われます。中でもお盆に施餓鬼会を行 うお寺が多いのは、お盆の時期は 亡者がこの世に降 りてくる とされていることに由来します。



活動報告 報告

9月14日

28世大慈提三大和尚稱名忌(しょうみょうき)

29世大典紀久大和尚退董式 (たいとうしき)

13回忌の別称である稱名忌 (しょうみょうき) の稱名とは、仏さまの名前を唱えることであり、年月の経過とともに故人が仏さまの一人として名前を唱えられるべき存在になったことを意味します。満101歳で遷化 (せんげ) し12年の月日が流れ、干支も一巡したのかと思うと感慨深いものがあります。退董式(たいとうしき) とは現住職が住職を退任する儀式です。董という字は、お寺を護り管理するという意味があり、退董はそのお役を退くことを言います。住職退任後は東堂(とうどう)という役に就き、住職と共にお寺を見守る立場となります。



10月12日JR東日本主催**駅からハイキング**

長野原高校の生徒さんの考案で「通学路の歴史を歩いて学ぶ」コースの1つに雲林寺を入れて頂き、約30名の方が来山されました。雲林寺の歴史や360年前から続く雲林寺の過去帳(表紙のみ)をお見せし、お話しさせて頂きました。



10月9日 坐禅と写経体験

西吾妻郡の4か町村(長野原町・草津町・嬬恋村・東吾妻町)の連携講座、で「坐禅と写経体験」がございました。坐禅も写経も共通しているのは心を落ち着かせることです。坐禅は寺の境内で日本の精神文化を学ぶ機会として世界で注目が集まっています。また、般若心経などのお経を書き写す写経はそれ自体に功徳があるとされています。





とうございました。 とうございました。 りが 沢山の方に景品をご寄



優勝の小山正彦様(右より2人目) おめでとうございます。

てテし檀に $\overline{}$ おィた信て昨 おり一ゴ徒親年 りまをル皆睦+ ま す行フ様ゴ月 。 なコのル+ 今りン親フ四 年 ペ睦コ日 もさ くに終めが津 交了る開力 流後ご催ン 参をはとさト 加深本をれり をめ堂目ま てで的し 待項パとた。 ちい

親睦ゴルフコンペ弟十四回雲林寺

っ て 平 抣 寿 命 は

わ くかれ る あばい よ すかた り まかにだに 健寿な が康命の 多にをま く生延 へこの活ばた。 す

ではのき

一年

Ę

ま

そう、

す

歓灯忌

つ慈を釈範が花念後れ四たき

も仏しよのれわしで思よ時 学回

し灯。 々曲うのの祖す頃開え流てと道相はで可幼瑩。 の会ば群

愛稚山

ら園紹

し児瑾

いお禅

姿稚師

に児七

会さ百

場ん回 かの大

ら献遠

照法まり奉たれ近はいりよ園 らのす代詠よそ隣太ま日りま花

ま悲意迦詠きがとのた組

でが味様範か行祝部とに

す

ようです とりた い組健 うむ康 精と体す。 ·· 操 神 が自 自分坐 然の禅 に体や

61

たがま祈王林を夜大分で

に福祈おじ煩し

は女祷不よ悩

て さ

品いす

のて

台豆親厄

まれ豆をれらら鐘

したをしていた ょ景ままいまに

りをののは

ましを心夜

きまはあの

るす。新ね。

で教ま禅に禅まいお光お師声献祈午さ詠し続第

下な元続「すさり禅さ法。

て

き

た

C

つす師れ灯

쑾

ことに、「法灯」「法灯」

ベ様

こ人山

な心様

お豆福厄分すー

りの男除会

者前のえ鐘日

福はで節まはに年初

じき別明雲年除は節上ま節

祷の寺迎の晦はは

向 かま 「よな要べ 育をヨ 人きだこと 美日開で雲心うりな物意ま大ガち々るけのも 講면供見せとに使せたまではます。 再年まくに講頃催月林とに健もを識れ事なょの期でこ せ向よ師やさ2寺体な康の自せるにどっ願間なとんきっのっれ回でがっ的を然ずよすにといをく、6、合て指てまっは一てな察にとうる取して延いら、 康お茶のまする」で 動しけ、がて、 。がて、体 こ自食本に ボワから十 いいののようによくない。 は、でするようになった。 は、でするようによくない。 は、でするようによくない。 は、でするようによくない。 は、でするようによくない。 は、でするようによくない。 <u>'</u> ਭੂ きうにい るに必食 月

どく頂特動

な

しにこ尚 ۲ え 本のるた。 る よ来も健 のと康 う 自お習 分寺慣とでを な でを かさ 行小 ら う う 林

お

申

込

3

は

別

節

分

会

御

内 夭 1)

をご確

Ξ

五 0

0

円 円

守

褔 褔

護 護

符

員仏き山首

し師よ

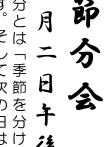
を ਰ੍ਹ

南湖

0

0

のす月 あるよるのり



年何後で ま中・けは同のをのすのを とはけ 、晦日で、

雲林寺のお不動さん

の会ば群練式し馬

習がホ県

成まル詠

果りに大

分区催一に登さ昨 区催

発壇れ年

各て会

教開が

の始 1

揮奉まに

そはしっ は最めて 次 節

行の行 事が、 わ C すす こる大掃 払 除。 と呼 の ば

平

り心入込掃歴れと るめ除史るな とらだは年っ末 仏 像す たでく やす、最大は、 堂を 〕 清 め は たい代。のの 神 のの 社 る 室意宮 仏町味中 行 閣時が行 事 を代強事 中に

堂橋本平 茂様昨まに 年 士た。 野田 の口伸月 有芳男 夫様唐 沢 岩明 木 雄 り 夏様 場 わ茂 雄 樹様 佐 藤 湯良

問い合わせ

めだかの会

09015395466



10月28日 昌賢学園まえばしホールにて 御詠歌とまなびと笑顔 禅をきく会

て年 頂末 きに ま本 堂

た様りき。のっく び 御午幼瑩会 詠後少山の に歌のか禅御 部ら師法 き学はのの話 るびど関教で 笑なわえは 顔たりに大 でを学本 を も学ぶ山 通 で し 入 ぶ 参 場 こ と持 散加でが設まる。 で営賃 き

0 五 回 正 お 知

すな内御 。 いを名 施施前 主は 様様施もに主 も ご通様連知に 絡さな 頂せり だけます。 れ頂す。 れば 先祖代 きます。 月 位代々の塔婆を用意り。年回に当たられた十四日の施食会の 婆を用意しま当たられてい。食会のご案

田様男水斎33様俊7~33様口様増羽宏冬竹7正甲池様子二平~ 3智⑪井田様子渕⑪美子孝①様様様長 田湯和宮勝か3様緒33様様夫黒3337野 只本様前宏つ橋30立高73様岩犬市70原 雄定了正様子詰33三橋芝237保塚川浅 様由山様⑪様淳長様尚田佐小男守通川 櫻 ①様口①宮⑬ー澤②司久藤林様人利よ井 ①幸山﨑星様セ竹様史し成13様様し芳 30-口昭野3ツ渕3様ず子黒73子樹 湯様和様勝橋子由滝③え様岩加⑪様様 本 7 寿 33 義 詰 様 紀 沢 33 様 1 文 部 27 1 7 征山様宮様俊の子正霜の③夫き市③⑪ 夫野切崎③英野様和田2313様み川浅山 様博33賢3様口13様春佐櫻7江三沼口 33喜山人本11和土7男藤井黒様男克次 吉様口様多長久田竹様花正岩⑪様行夫 崎⑪幸①信谷様浩渕⑬吉宏良②①様様 一宮義川33様京高様様一加市2727 蔵本様崎様誠野33子良⑦①様部村阿佐 23 信 1 様 口 冨 様 江 佐 佐 7 恒 美 藤 藤 ②
7
春山彦③3013和澤①様藤藤小夫佐啓良

33 様明藤桐⑦雄新北 様干3俊勝渕大様井軽 7川7様美始森13登井 23 直田 17 様春 一石様沢 八康島下33様年田7 木様敏田重迎様実池青 原27治一原桐27様上木 栄細様美欽渕上7義篤 様井①様三正谷井雄様 27忠(173)様芳川上様 吉幸田下犯様憲けつ 田様中田柴切ーさ石 茂⑪亨和崎小様子井操 様真様希弘金⑪様陽様 (1)13下 7 様光沢神(3)介 健中27様忠戸岩様 様村関3彦久田1 13 嘉根3様利紀石 宮江鉄清17様重田

吉

一野(13)子へ 様口篠様与 1友原3喜 江憲小屋 様太林 33郎翔片 湯様様所 和霜⑪明 明田佐様 1 様芳藤 7 **7**之孝**7**湯様子唐 本⑪様澤 努中23博 様村篠様 3 7剛原 湯様恵小

様東

(1)吾

妻

寺

正

明

17)

吉

 \blacksquare

様

27

下

 \blacksquare

満

様川 原 3 野湯 □ • 靖川 子原 様畑 3 金横 子 夫篠 様 原 7 夫様 金 子 作二様 33 \blacksquare 啓 (3)

佐

津

浦

野

和

様

③ 久

保

 \blacksquare

静

江

様

(13)

滝

23治守村沢三へ 様夫卓登千羽 ⑦様也喜男根 山23様夫様尾 □高13様1 淳原黒③加黒 様實岩唐部 ① 様誠澤秀兀 山①司富俊様 □⑦様雄様 17) 幹竹⑦様② 雄渕櫻⑦加石 様定井唐部田 ② 夫秀澤正次 小様樹正弘 暮<u>卻</u>様人様^樣 光樋(13) 様(1) 雄口櫻③①加 様憲井河唐辺

佐善山⑪和様な清巡様た治興江①へ 予太岸野様13代水嶋13代様様様浅大 子郎冨口③冨様猛村櫻様173見津 様様美善成澤⑦様久井③黒神⑪良 ③勿雄行澤ふ冨の夫憲小岩田市雄浅 湯様様篤じ澤鈴様様林治ヨ村様見 本713史江重木333-男ウ由3昭 輝湯廣様様男孝嶋篠昭様子起33夫 男本川⑪㉓様幸村原様⒀様夫鄒様 様完直野冨③様寿は331327様荒33 13司人口澤富①和る小黒黒①木浅 吉様様ゆ冨沢高様子林岩岩唐も見 澤113う美哲橋1様紀すー澤と幸 澄湯干か夫夫和嶋③次み久健ゑ 夫本川様様様弘村篠様子様志様様 様茂弘⑪⑪⑬様和原⑪様⑦様⑦③ ①様枝丸33富①弘百小13337市浅 133 様山中沢竹様合山小黒河村見 黒湯⑬忠澤英内③子勝林岩合富隆 岩本23様弘雄は33様彦う喜秀美様

茂様か美小へ 木⑬よ好林林 う高子様秀 め原様②幸市 様伸7篠様村 23 弘篠原23 隆 茂様原一小宏 木①茂隼林様 好饿様樣寬 雄星37様浦 様河篠<mark>33</mark>1野 ②博原篠39朗 上様真原小様 田30一か林7 和星様つ福小 子河③江 様良篠様様乳 3-原73 33 様正篠篠様 **23** 17明原原

野寿芙雄村🤼 口様美様良中 幸賀子③平之 浩冨様篠様条 様沢27原1町 23 祐関賢加 宮一口俊島^市 川様幹様栄川 康⑦夫①樹剛 広西様13様様 様山①333① ⑪浩高篠櫻<u>7</u> 27二田原并有 湯様千卜和馬 本③草モ彦ち 久野様子様で 様口①様仰子 23 勉高 13 佐 様 様平篠藤 ③裕原安市

藤簑応 進島桑 様弘・ ⑪光 嬬 武様恋 ③ 村 藤 正山 雄 岩 小 様忠室 **23** 弘 様 夫 13 様 (33) 23 湯 中 本 村 誠 様 次 7 13 様

和 好 13 Ш 本三 郎

3 久 渋 夫川 様市 (1) 山短 守様 正 則 13 様 27 湯 狩野悦 根みち子 子 様 23 篠 **様** 原 **23** 小実 林様 23 昭

夫山岩へ 様口へ 様口里前 ①英香橋 17子様市 様③ ⑪斉池 山藤谷 口明幸 和様子 彦 27 様 様篠⑪ 7原岩 吉正井 田昭靖 子野加 様口島 3雅明 增春様 田様で 哲23 黒

嶋一 村高 均崎 様市 **27**) 高唐 橋澤 勝勉 様 美 3 様 黒 3 富岩 澤伸 康泰 様 (1) 様 櫻 井 孝 治 様

原清 陽様

郎一一 様北太 27 群田 1馬郡】篠日市】三俣 瑞治 (13) 幸 治 様 27) 野 弦

幸一 様長 ③野 17 県 \blacksquare 恵 美 子 (13) 橋 甚 様 7 (17) Ш 本

原様荻へ 寬②野埼 様武誠玉 23 田様児 福俊33 田一景浅 万様山^沼 夫③直克 様田久巳 1村様様 横朋⑦③ 田子が市 誠様泉川 様 7 美 13野様様 ☐ (13) ⁽²³⁾ 明道市 成篠川 様原貴 23 勝様 萩美①

□様∽ 正②東 人小京 様林都 17忠 山男市 田様村武力菊 23 23 秀 郎原 様香 13 織 野様 1 1 剛 唐 志 様澤 祥 13 野夫

子神 **①**川 芹県 み大 石 え子 石まり 様 23 23 **(23)** 山様]清二様 典 3 様 1 (23) 杉 本

, 千 葉 市 村 広 様 1 森本 拓 也

名 前 の 誤 公字脱 字 年 回 施主様に 1 落ち が ありま したらご了

令 和 七 年

回回周 忌忌忌 三 一五六

七三一

平平平平平令平令令 成成成成成和成和和 年年年年年年年年 九九〇〇一一末三四 九九三九三九ま三四 で

七三

忌忌忌忌忌 ——三三 —五—五元

七